
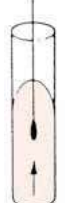



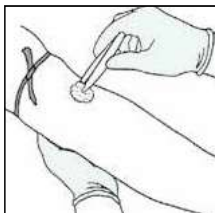

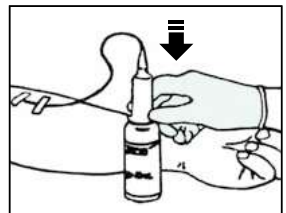

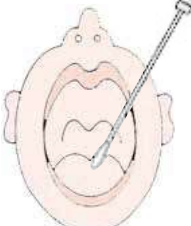




検体の種類	検体の採取方法	
膣・子宮・尿道の分泌物	トリコモナス	<p>綿棒は適当な長さに切って下さい。</p>  <p>トリコモナス培地に検体を採取した綿棒を入れて下さい。 (培地は使用前に室温にもどしてください) 検体採取後は室温保存してください。 (冷蔵保存では検査不可となります)</p>
	カンジダ	<p>カンジダ培地を使用して下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="582 560 694 784"> <p>1</p>  <p>キャップをとりカンジダ培地の斜面に検体採取した綿棒で底から上部に検体を直線状に塗布します。</p> </div> <div data-bbox="861 560 973 784"> <p>2</p>  <p>次に同じ綿棒で画線を描くように塗布します。</p> </div> <div data-bbox="1173 560 1284 784"> <p>3</p>  <p>キャップをします。</p> </div> </div>
血液	<p>カルチャーボトルを次の順序で使用して下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="422 862 638 1120"> <p>1</p>  <p>①培養ボトルからフリップキャップをはずします。 ②ボトルのゴム栓をアルコール綿で1回拭き、乾かします。</p> </div> <div data-bbox="654 862 869 1120"> <p>2</p>  <p>③70%イソプロパノールまたはエタノールを浸した綿で、皮膚を清拭します。(1~2%ヨードチンキまたは10%ポビドンヨードでも可) ④清拭部位を乾かします。</p> </div> <div data-bbox="917 862 1133 1120"> <p>3</p>  <p>⑤シリンジまたは翼状針を用いた真空採血により、培養ボトルに血液を3~10mL採取します。 ⑥採取した検体を提出するまでは、常温で保存してください。(冷蔵または孵卵器で保存しないでください)</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">または</p> 	
口腔・鼻腔・咽頭分泌物	<p>シードスワブ®を使用して下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="422 1332 606 1624">  <p>キャップ付綿棒をとり出します。</p> </div> <div data-bbox="702 1332 893 1624">  <p>採取部位を綿棒で十分に擦過し、また膿栓のあるときは圧迫して検体を採取して下さい。</p> </div> <div data-bbox="989 1332 1173 1624">  <p>培地のキャップ部分をとって下さい。</p> </div> <div data-bbox="1268 1332 1460 1624">  <p>綿棒を培地内に差し込んで下さい。</p> </div> </div>	